

令和5年度 教育部の運営方針

部	教育部	部長	桐藤 英樹
監	中平 好美（教育監）	理事（監）	

【基本方針】

教育部ではこれからの社会変化に対応できる、「生きる力」を持った子供の育成に向けて、効果的な学校教育と、安全で快適な教育環境の整備を推進します。

学校教育においては、幼小中一貫教育を推進し連続性のある英語教育やキャリア教育に取り組みます。学力向上については、ICT等を効果的に活用した授業づくりを進め、体力向上については、体育の授業や部活動の充実に向け取り組みます。教育支援の充実については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材を積極的に活用し、多様化する子どもたちへの支援体制を強化します。快適な教育環境の整備については、引き続き学校トイレの洋式化を行い、体育館の空調設備設置については、中学校に引き続き小学校にも着手します。

生涯学習においては、市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自主的に学習に取り組める環境の整備を進めるとともに、電子図書館の更なる利用促進に向けたコンテンツの充実等により、「知の拠点」としての図書館機能の強化を目指します。また、生涯スポーツを振興するため幅広い世代が気軽にスポーツを体験できるイベントの開催等により、市民の体力向上及び健康増進を図ります。

さらには、文化財の適切な維持管理により、歴史的、文化的資源の保護継承を図るとともに、本市の歴史的な魅力を積極的に情報発信することで、市民の地元への誇りや郷土愛を醸成します。

【重点目標】

1	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度 達成状況
	幼小中一貫教育の推進					A
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度 達成状況
	学力・体力の向上					B
3	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度 達成状況
	教育支援の充実					A
4	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度 達成状況
	快適な教育環境の整備					A
5	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	生涯学習	令和5年度 達成状況
	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供					A
6	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	歴史・文化	令和5年度 達成状況
	文化財の保存、整備、活用					A

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
- B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
- E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	教育部
---	-----

重点目標 1	幼小中一貫教育の推進
--------	------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
英語教育の充実とキャリア教育を重点項目に位置付け、子どもたちが感じる校種間の段差を更に軽減させます。	達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校は楽しいですか」の質問に「楽しい」と回答した割合は、小学校1年生、中学校1年生ともに、昨年度と概ね同じ傾向でした。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績		
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置し、実践例の交流や研修を推進します。	幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置しました。専門性を生かして小学校における外国語の指導を担うことにより、小中の連携が進み、子どもたちは校種間の段差を乗り越えやすくなっています。		
<table> <tr> <td>所管室・課</td><td>指導課</td></tr> </table>	所管室・課	指導課	
所管室・課	指導課		
具体的取組	具体的な取組実績		
職場体験の取組みの実施や、SDGsについて探究的に学ぶ活動を推進します。	大阪府教育庁の実施する「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト」に複数の小中学校が参加し、「いのち輝くデザインを考える」という共通のテーマで探究的に学ぶ活動が進められました。		
<table> <tr> <td>所管室・課</td><td>指導課</td></tr> </table>	所管室・課	指導課	
所管室・課	指導課		

総合評価・総括	全体の達成度
幼小中一貫教育コーディネーター会議においては、学力の向上、生活指導上の課題等について協議することで、中学校区における特色ある教育の推進につながりました。	A 達成

今後検討すべきこと
各校区の一貫教育がより効果的なものにブラッシュアップされるよう、取り組んでまいります。

部	教育部
---	-----

重点目標 2	学力・体力の向上
--------	----------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
ICT等を活用した授業改善に取り組み、学力の向上を図ります。	達成目標の成果指標としていた、全国学力・学習状況調査における対全国比（全国の平均正答率を1とする）において、小学校は0.97、中学校は0.94という結果となりました。授業中でのICT活用は、全国や府と比較して少ないことがわかりました。	B 概ね達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
体育の授業や部活動の充実により、体力の向上を図ります。	達成目標の成果指標としていた、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における対全国比（全国平均を50としたときの値）は、小学生（5年生男女）は下回りましたが、中学生（2年生男女）は上回り、2年生男子は前年度実施時の値より4.3%上昇しました。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
学力向上推進委員会を年間10回実施します。ICT支援員、学校司書を全校に配置し、ICTを効果的に活用できる授業の推進、読書活動の推進を進めます。	・学力向上推進委員会を年間の10回実施し、ICTを活用した効果的な授業づくりについての研究が進みました。 ・ICT支援員を配置し、教員の授業づくりの支援や機器のトラブルに対応しました。 ・小中学校に、蔵書管理ソフトを導入し、図書室の環境整備を進め、読書活動の推進を進めました。
具体的取組	具体的な取組実績
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、広く市民に周知します。 小学校3・4年生の体力等の状況について把握し、分析します。 部活動補助指導員を増員し、各中学校に配置します。	・全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果分析を市のホームページ上に掲載することにより、学校だけでなく広く市民にむけて体力の状況を周知しました。 ・専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を部活動補助指導員として各中学校に配置することにより、専門の競技とは異なる部を顧問する教員を支援し、生徒への指導を充実させました。
所管室・課	指導課
所管室・課	指導課

総合評価・総括	全体の達成度
・ICTを活用した授業改善や学力向上に向けた取組については、「思考力・判断力・表現力」の育成をテーマに、学力向上推進委員会を中心に進めてきました。取組みの成果を生かし、各学校でも取り組んでいく必要があります。 ・体力については、全国と比べ中学生の週の運動総時間数が多いことがわかりました。小学生においては、体育の授業はもちろん、それ以外にも体を動かす活動の時間や機会の確保が重要だと考えます。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
・言語能力や情報活用能力など、未知の課題に主体的に対応できる力の育成をめざし、教員の授業力を向上させる研修を充実させてまいります。また、ICTを有効に活用した「分かる授業づくり」を、より一層推進してまいります。 ・体力向上に向け、子どもたちが楽しんで自ら体を動かそうとする教育活動や取組を進めます。

部	教育部
---	-----

重点目標 3	教育支援の充実
--------	---------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう学校の教育支援を充実させます。	達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校の中に相談できる大人はいますか」に「いる」と答えた全体の割合は、昨年度に比べて3%低下しましたが、中学2年生と3年生については、経年比較でみると上昇しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
スクールカウンセラーを全小学校及び教育研究所に配置します。 スクールソーシャルワーカーを全ての中学校区に配置し、活用を進めます。	・スクールカウンセラーを配置することにより、相談体制を整え、悩みや不安を抱えている児童・生徒及び保護者を支援しました。 ・スクールソーシャルワーカーを配置することにより、関係機関と連携して児童・生徒の様々な環境に働きかける支援を行いました。 ・両者がそれぞれの専門性を生かし、学校課題の解決・改善を図りました。
所管室・課 指導課	
具体的取組	具体的な取組実績
学校教育支援指導員や日本語指導員を学校のニーズに応じて配置します。 支援教育コーディネーター会議及び研修会を実施します。	・地域の教育力や地元の大学との連携を生かし、学生等のボランティアを学校教育支援指導員として学校園に派遣しました。 ・日本語指導員を増員し、巡回型の日本語指導を行い、日常生活に支障のないよう支援しました。 ・支援教育コーディネーター研修会を開催し、障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じた適切な指導、支援につなげました。
所管室・課 指導課	

総合評価・総括	全体の達成度
・スクールカウンセラーの全小学校への配置により、心理面での不安の解消や、ニーズに応じた発達検査にスムーズにつなげることができました。今後も早期対応をより一層進めていきたいと考えています。 ・スクールソーシャルワーカーを全校配置したことに伴い、専門機関との連携が一層進みました。子どもを取り巻く環境の改善につなげることができました。	A 達成

今後検討すべきこと
日本語を母語としない外国籍児童生徒の増加に伴い、さらなる支援を進めるため、日本語指導を始めとする教育環境の充実に努めます。

部	教育部
---	-----

重点目標 4	快適な教育環境の整備
--------	------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
快適な教育環境の整備に取り組みます。	令和5年度の設計業務及び設置工事については予定通り完了し、教育環境を整備することができました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
柏原市小・中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、小中一貫教育を推進し、教育効果を高める取組みの研究を進めます。	方針に基づき、人口推計算出や視察等を行い、研究が進みました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
トイレの洋式化を進め、小学校体育館への空調設置に着手します。	・小学校2校のトイレ洋式化工事、小学校・中学校各1校のトイレ洋式化工事設計業務に取り組みました。 ・中学校2校の体育館空調設備設置工事、小学校5校の体育館空調設備設置工事設計業務に取り組みました。
所管室・課	教育総務課
具体的取組	具体的な取組実績
少子化に伴う状況を把握するため、各学校における児童生徒数の推計調査を年2回行います。9年間のカリキュラム作成や連続性のあるインクルーシブ教育システム構築等、小中一貫教育先進校の視察や情報収集に取り組みます。	・令和2年国勢調査データ及び住民基本台帳を基に令和32年までの児童・生徒数推移を計算。さらに各校区別の令和11年までの推移を算出しました。 ・先進校視察として交野市を訪問し、適正配置にむけた取組について研究しました。 ・教育委員会として課題を検討しました。
所管室・課	学務課

総合評価・総括	全体の達成度
教育環境の整備につきましては予定通り、トイレの洋式化や体育館への空調設備設置を進めることができました。適正規模・適正配置につきましては、交野市の取組を参考にした研究を進めるとともに、住民基本台帳による今後の児童生徒数の推計に基いた検討等を行いました。	A 達成

今後検討すべきこと
学校体育館への空調設備につきましては、令和7年度までに全校への設置が完了する予定であるため、今後特別教室等への設置等を検討していく必要があります。適正配置については、公共施設の再編整備とも密接にかかわるため、関係部署への働きかけを行っていきます。

部	教育部
---	-----

重点目標 5	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供
--------	--------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
だれもが利用しやすく親しみやすい図書館となるよう環境づくりに努めるとともに知の拠点としての機能強化を目指します。	各種イベントの開催等による啓発や図書利用カードのオンライン申請開始等の機能強化を図ることで、図書館利用者が前年度と比較し約2,000人増加しました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、各種スポーツイベントが例年通り開催され、市民がスポーツを楽しめる機会を提供することができました。また、市民意識調査の「生涯学習」の満足度は3.45となり、前回調査より0.07ポイント上がりました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
図書館では、子どもから高齢者、さらには障害を抱える方が、より本に親しんでいただけるよう、「おはなし会」や「としょかんマルシェ」等のイベントを開催するとともに、図書館機能をより強化するため、電子書籍のラインナップを充実させてまいります。	ボランティア団体と連携し、「おはなし会」や「としょかんマルシェ」等のイベントを開催するとともに、市民総合フェスティバルにおいて電子図書館の利用啓発や本のリサイクル市を行うことにより、読書への関心を高め、図書館利用者増加に努めました。さらに図書利用カードのオンライン申請、視覚障害者に向けた郵送による録音資料の貸し出し等を開始し、利便性の向上を図りました。
所管室・課 図書館	
具体的取組	具体的な取組実績
市内体育施設の管理運営及び柏原シティキャンパスマラソン等の事業の充実によって、市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。	各スポーツ施設の来場者数も昨年より増加し、「スポーツフェスティバルin柏原」には延べ4,534人の参加があり、「柏原シティキャンパスマラソン」についても、442人のご参加をいただきました。このような取組から、市民がスポーツに親しめる環境づくりに努めました。
所管室・課 スポーツ推進課	

総合評価・総括	全体の達成度
図書館においては、さまざまなイベント開催等を通じて、市民の読書意欲の向上と利用者数の増加に努めました。スポーツの推進については、各種スポーツイベントの開催により、市民がスポーツを楽しめる機会を提供することができました。	A 達成

今後検討すべきこと
文化センターの長寿命化改修工事を踏まえ、読書環境の整備に努めるとともに、市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりを今後も進めてまいります。

部	教育部
---	-----

重点目標 6	文化財の保存、整備、活用
--------	--------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理及び整備に努めます。	定期的な点検、調査、清掃等、市内史跡の維持管理や整備を行いました。 また、府指定史跡清浄泉斜面保護対策工事を完了し、資料館においても空調と照明設備の改修工事を行いました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
文化財を公開・活用し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供します。	寺田家住宅の説明板を建物の景観に配慮しつつ、リニューアルしたほか、企画展や講演会、オンラインによる文化財の紹介を行いました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
史跡や遺構の劣化防止対策を行います。また、資料館の空調や照明設備を改修し、来館者や文化財資料の環境の維持管理を行います。	歴史資料館の空調や照明設備の改修工事を行いました。 また、史跡鳥坂寺跡の草刈りを行い、遺構の整備を行いました。
所管室・課 文化財課	
具体的取組	具体的な取組実績
歴史資料館において、定期的な企画展や講演会等を開催します。また文化財説明板の設置、改修を順次行います。	企画展を年に4回開催し、企画展に合わせた講演会を行いました。また、古くなった説明板1基の改修を行いました。
所管室・課 文化財課	

総合評価・総括	全体の達成度
2か年にわたる府指定史跡清浄泉斜面保護対策工事が完了し、史跡周辺の環境が整いましたが、市内には、まだ整備が必要な史跡があり、計画的に整備を進める必要があります。歴史資料館の空調設備及び照明設備の改修につきましては、資料館の利用ができるだけ滞らないよう配慮し、工事を行いました。また、文化財の活用については、新たな企画も進め、世代を問わず、多くの方に来館していただきました。	A 達成

今後検討すべきこと
文化財の活用や整備について、柏原市の文化財や、歴史資料館により一層興味を持っていただけるような新たな手法を検討、導入します。